

2013年3月期

第2四半期決算説明資料

レシップホールディングス株式会社

LECIP
GROUP

2012年11月

▶ **1. 2013年3月期 上期業績の概要・主な項目の進捗状況**:P 3~P17

■ **2. 2013年3月期 通期業績の見通し・配当の状況**:P19~P21

■ **3. 中長期的な成長に向けた取り組み**:P23~P33

■ **【ご参考資料】**:P35~P42

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期ごとの業績推移

全般概況

■ 前期比:売上高: **増収** 損益面: **改善**

- ▶ 主力のバス市場向け製品が大きく増加したほか、PHS基地局用電源、プリント基板実装事業なども好調に推移し、増収。

セグメント別業績の概況

➤ プラス要因

輸送機器事業

- バス用運賃收受システム、車載用液晶表示器OBCなど、主力のバス市場向け製品が、大きく増加。
- バス・鉄道・自動車用LED灯具の増加。

産業機器事業

- PHS基地局用電源が、通信事業者様の基地局増設を背景に、好調推移。
- レシップ電子のプリント基板実装事業が、自動車用電装品向けの拡大により、増加。

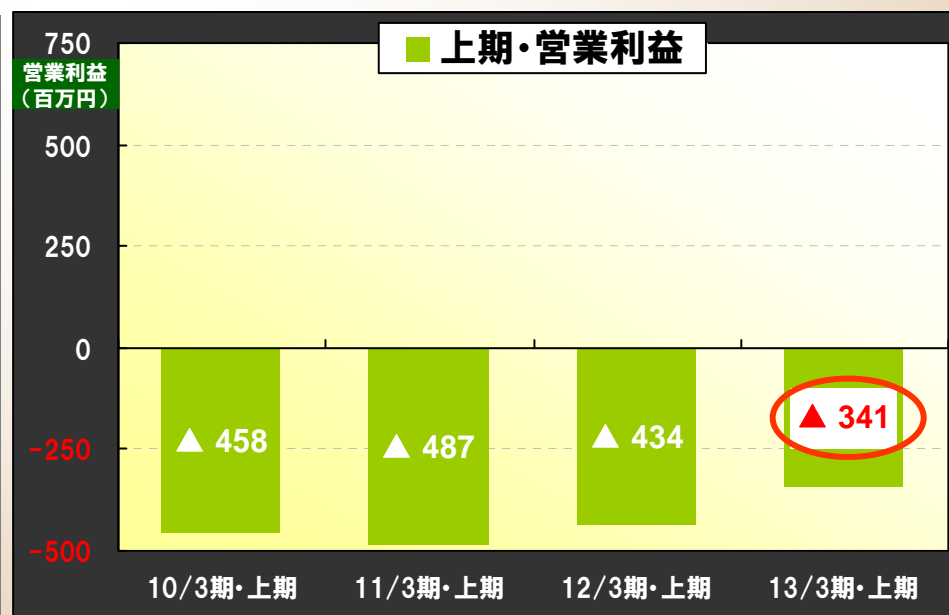
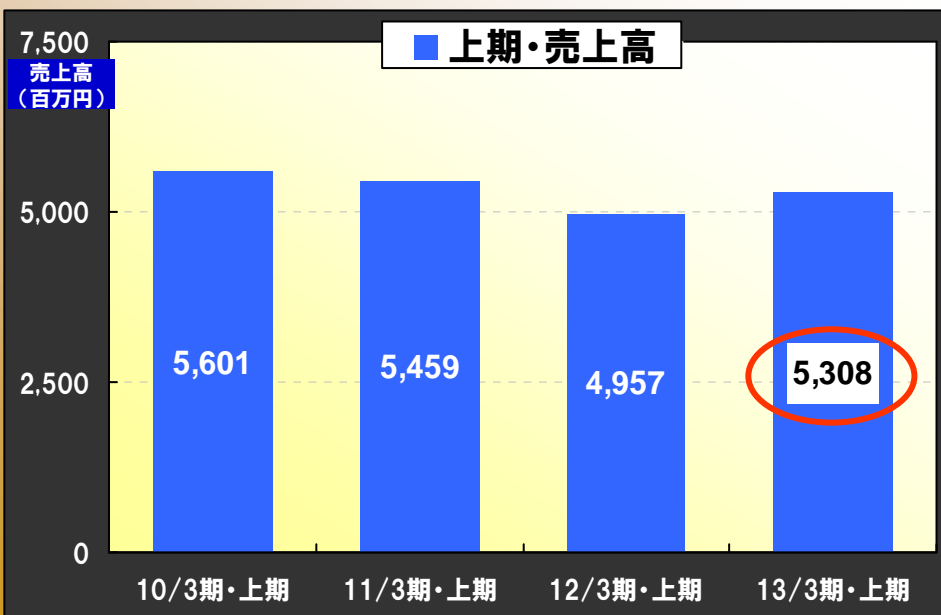
➤ マイナス要因

S&D事業

- 蛍光灯型LED灯具が、前年上期に集中した大口需要の反動により、大きく減少。

2013年3月期 上期 連結業績の要約

【連結】 上期業績 (単位:百万円)	2012年3月期 上期		2013年3月期 上期				
	① 前期実績	構成比	② 当初発表 業績予想	③ 当期実績	構成比	前年同期比 増減額 ③-①	前年同期比 増減率
売上高	4,957	100.0%	5,400	5,308	100.0%	+351	+7.1%
売上総利益	821	16.6%	—	955	18.0%	+133	+16.3%
営業利益	▲434	▲8.8%	▲350	▲ 341	▲6.4%	+93	—
経常利益	▲431	▲8.7%	▲340	▲ 347	▲6.5%	+84	—
上期純利益	▲297	▲6.0%	▲230	▲ 265	▲5.0%	+32	—

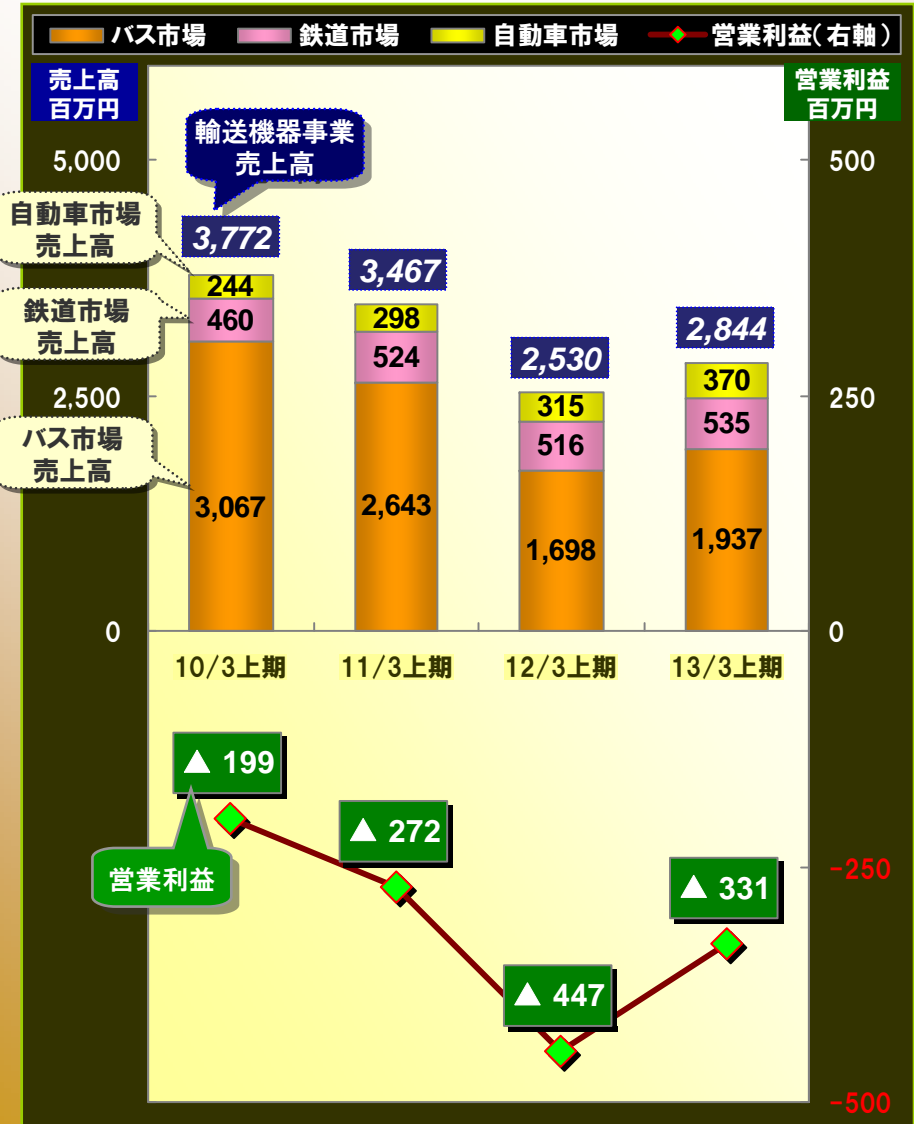


2013年3月期 上期 セグメント別業績

売上高 (単位:百万円)	2012年3月期 上期		2013年3月期 上期			
	前期実績	構成比	当期実績	構成比	増減額	増減率
輸送機器事業	2,530	51.1%	2,844	53.6%	+313	+12.4%
S&D事業	708	14.3%	548	10.3%	▲160	▲22.7%
産業機器事業	1,695	34.2%	1,893	35.7%	+198	+11.7%
その他事業	22	0.4%	22	0.4%	▲0	▲0.1%
連結売上高	4,957	100.0%	5,308	100.0%	+351	+7.1%

営業利益 (単位:百万円)	2012年3月期 上期		2013年3月期 上期			
	前期実績	構成比	当期実績	構成比	増減額	増減率
輸送機器事業	▲447	110.0%	▲331	104.8%	+116	—
S&D事業	▲21	5.3%	▲42	13.3%	▲20	—
産業機器事業	60	▲14.8%	54	▲17.1%	▲6	▲10.5%
その他事業	1	▲0.5%	3	▲1.0%	+1	+60.2%
計	▲407	100.0%	▲315	100.0%	+91	—
消去・全社	▲27	—	▲25	—	+2	—
連結営業利益	▲434	—	▲341	—	+93	—

▶ 輸送機器事業：上期：売上高・営業利益の推移



■ 売上高 : 前期比 ▲ + 3億13百万円 +12.4%
■ 営業利益 : 前期比 ▲ + 1億16百万円 — %

バス市場製品売上高

前期比: +2億39百万円(+14.1%)

- ▶ バス用運賃收受システムの増加
- ▶ 車載用液晶表示器OBCのほか、バス用LED灯具などの拡販も進む



鉄道市場製品売上高

前期比: +19百万円(+3.8%)

- ▶ ワンマン機器などは減少したものの、鉄道車両用LED灯具が増加



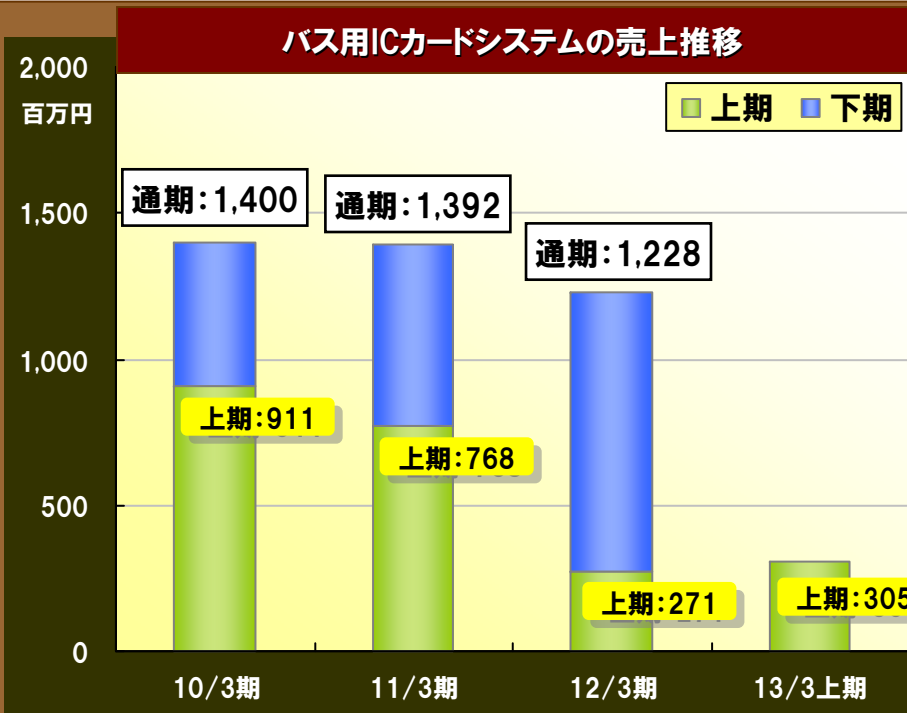
自動車市場製品売上高

前期比: +54百万円(+17.2%)

- ▶ トラック用LED灯具などの増加



バス用ICカードシステム（ICカード読み取り機能付運賃箱、ICカードリーダー・ライタ）



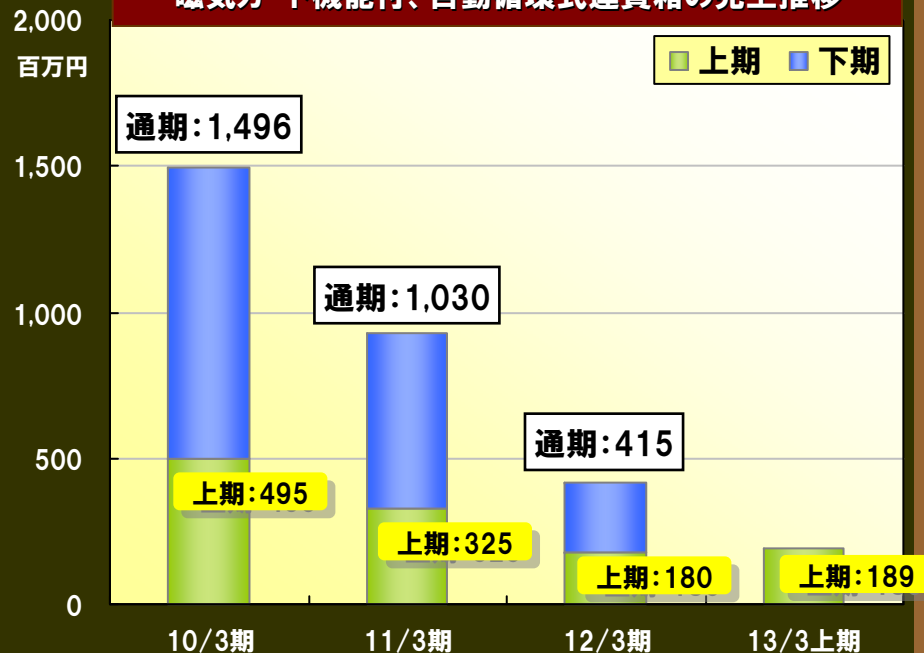
ICカード対応運賃箱 / ICカードリーダー・ライタ



- 上期は、札幌地区、新潟地区などへの納入が進み、前年同期比増加
- 全国的には、これから導入が予想される地域もあることから、これまでの実績を追い風に、引き続き、全国展開を推進

バス用運賃箱（磁気カード読み取り機能付運賃箱、自動循環式運賃箱）

磁気カード機能付、自動循環式運賃箱の売上推移

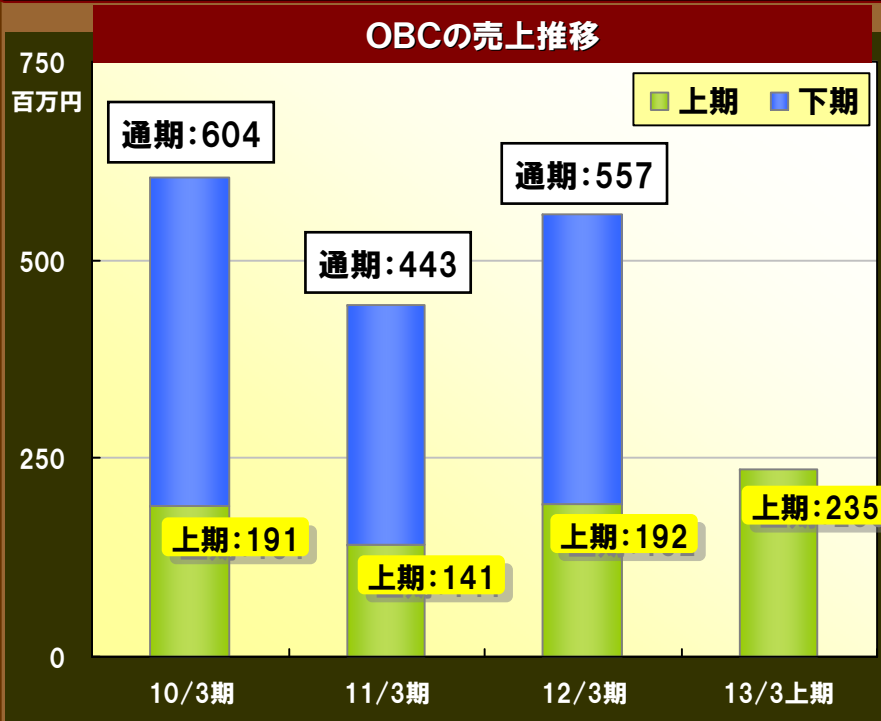


バス用運賃箱



- 上期は、低調に推移したものの、下期は、大口物件への納入を予定
- 通期ベースでは、前年までの低迷から脱し、大幅な回復を見込む
- 将来的な布石として、着実に受注を進め、シェア拡大に成功
 - ➡ 今後、ICカードシステム等、その他関連製品の拡販に繋げていく

車載用液晶表示器OBC(オン・バス・コンピュータ)



OBC(オン・バス・コンピュータ)

【パソコンと同等の機能】
車載機器のシステム化、地上システムとのネットワーク化が可能。

● 関西地区、九州地区などへの納入進み、前年同期比増加。更なる拡大を見込む

● OBCを活用した新たな展開を推進

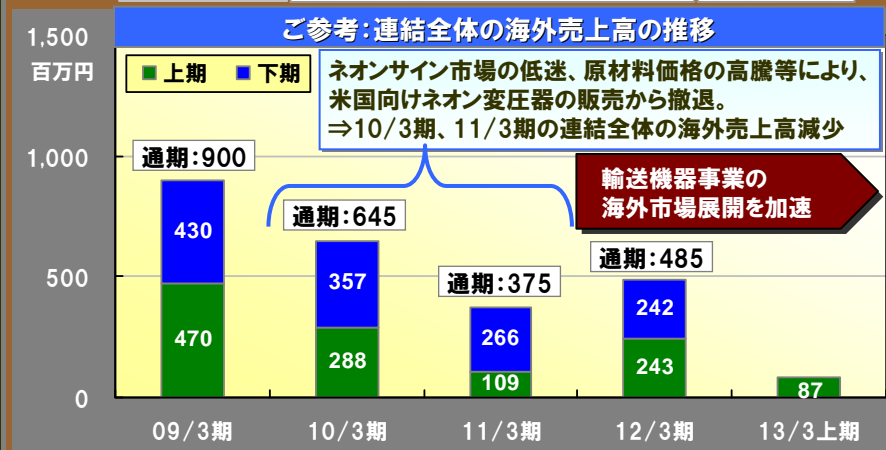
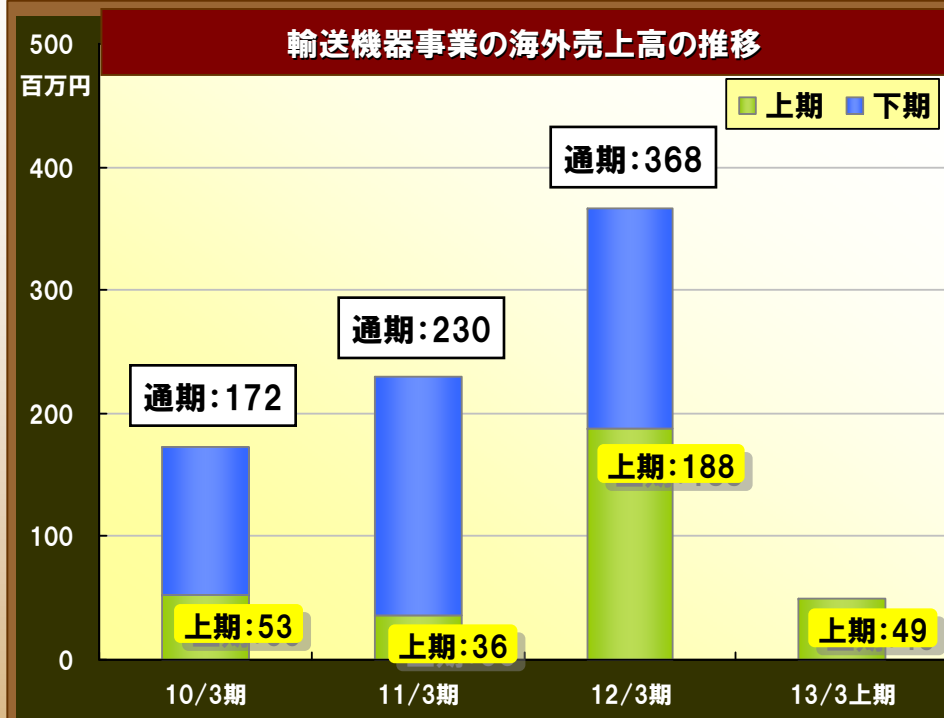
➡ 運行情報や乗換え・接続案内等、多くの有益な情報のリアルタイム配信を可能にする「乗客情報システム(PIS)」

➡ 路線バスにおいて、広告やニュース・天気予報などの表示を行うデジタルサイネージ「バスチャンネル」



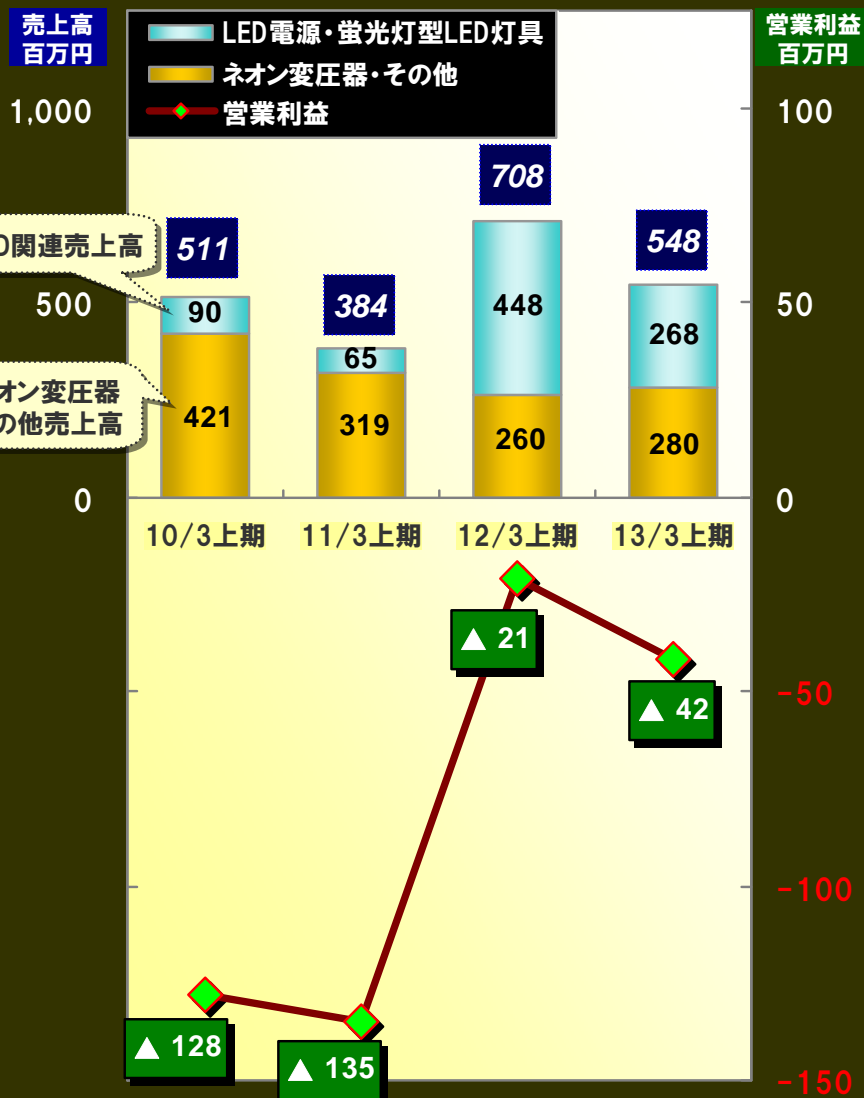
運賃・停留所表示のほか、運行案内や、ニュース、CMなど多彩な情報配信が可能。

輸送機器事業の海外売上高



- 輸送機器事業の海外売上高は、上期低迷するも、下期は拡大を見込む
 ➡ 下期は、シンガポール向けバス用運賃箱や、LED式行先表示器、発券機などの納入を予定
 北米向けバス用AFC(自動運賃收受)システムの売上も一部見込む
- 米国市場で、バス用AFC(自動運賃收受)システムを、相次ぎ落札
 ➡ 6月：米国・カリフォルニア州・サンタモニカ市交通局様 落札(US\$ 約7.2M)
 10月：米国・ケンタッキー州・リバーシティ交通局様 落札(US\$ 約4.1M)
 来期から、本格的な納入を予定

▶ S&D事業: 上期: 売上高・営業利益の推移



■ 売上高 : 前期比 ▲1億60百万円 ▲22.7%
■ 営業利益 : 前期比 ▲20百万円 —

LED電源、蛍光灯型LED灯具

前期比: ▲1億79百万円(▲40.0%)

- ▶ LED電源(▲8百万円)
- ▶ 蛍光灯型LED灯具(▲1億70百万円)
- ▶ 前年上期にあった店舗向け大口需要の反動もあり、大きく減少



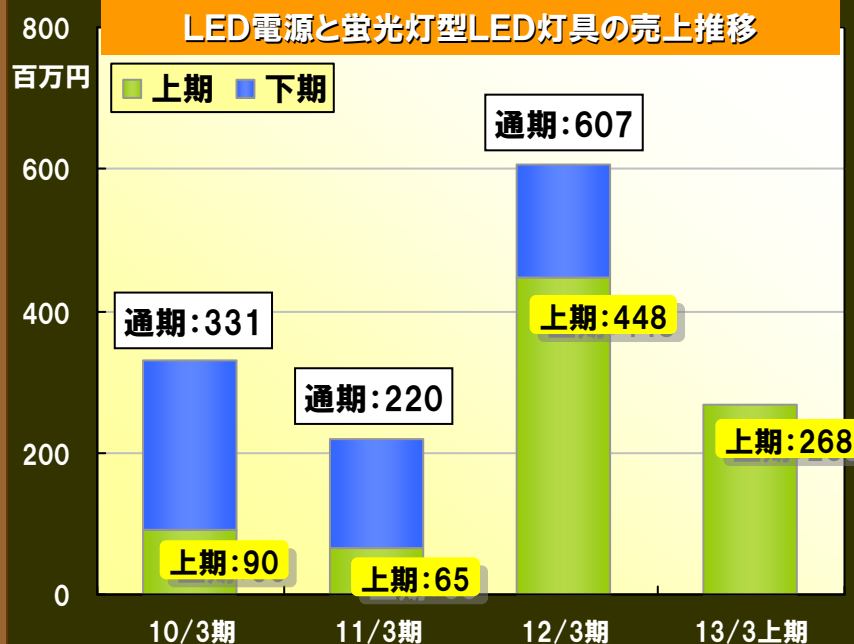
ネオン変圧器関連その他

前期比: +20百万円(+7.7%)

- ▶ ネオン変圧器の販売が持ち直す
- ▶ 燃焼器具用変圧器等、その他の小型変圧器は減少



LED電源と蛍光灯型LED灯具



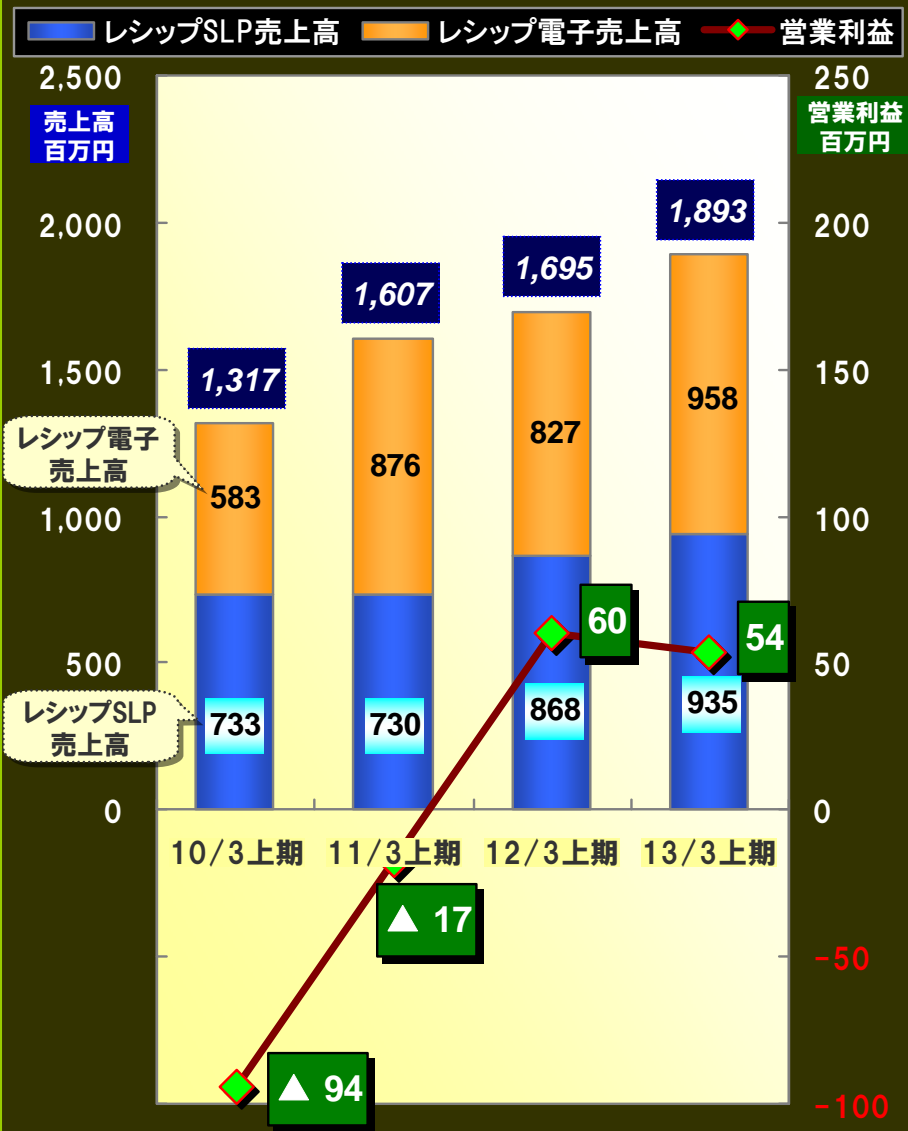
- 上期は、前年同期にあった大口需要の反動も響き、大きく減少

➡ 【LED電源・蛍光灯型LED灯具の売上高】

	12/3 上期	13/3 上期	
・LED電源	2億58百万円	2億49百万円	(前年同期比 ▲8百万円 ▲ 3.3%)
・蛍光灯型LED灯具	1億89百万円	18百万円	(前年同期比 ▲1億70百万円 ▲90.1%)
合計	4億48百万円	2億68百万円	(前年同期比 ▲1億79百万円 ▲40.0%)

- 下期は、LED照明器具メーカー様向けを中心に、LED電源の拡販が進む見通し
- 引き続き、高品質の製品開発と拡販活動に注力しながら、LED関連ビジネスの拡大を図る

産業機器事業：上期：売上高・営業利益の推移



▲ 売上高 : 前期比 + 1億98百万円 +11.7%
▲ 営業利益: 前期比 ▲ 6百万円 ▲10.5%

フォークリフト用充電器

前期比: +3百万円(+0.9%)

▶ フォークリフトの販売台数は、引き続き、堅調推移



無停電電源装置・基地局用電源

前期比: +73百万円(+68.6%)

▶ CATV基地局向け減少するも、PHS基地局向けが大きく増加



自家発電機用自動運転装置・始動用電源

前期比: +27百万円(+17.6%)

▶ 非常用電源の需要は、引き続き、底堅く推移



レシップ電子・プリント基板実装

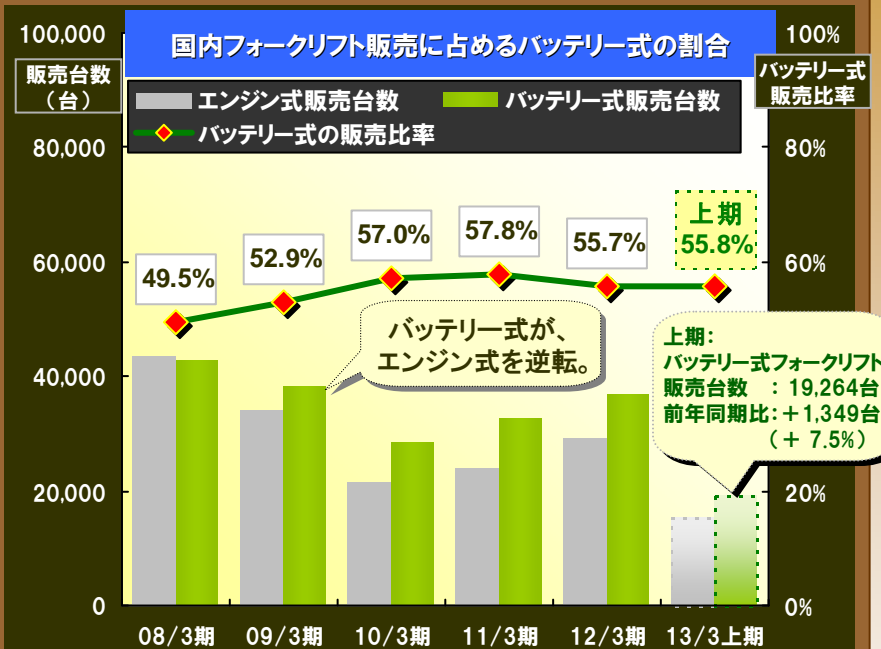
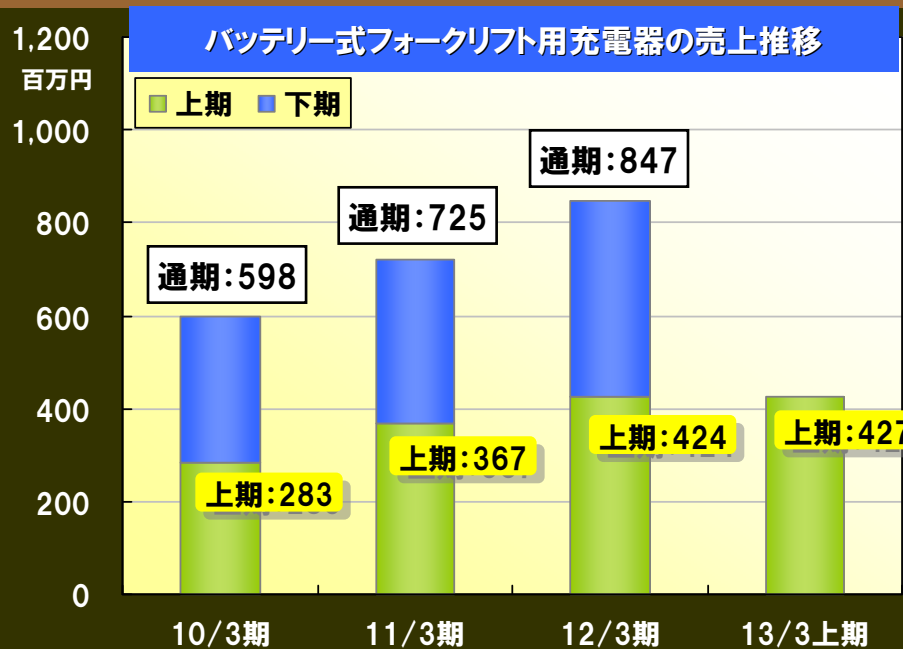
前期比: +1億31百万円(+15.8%)

▶ 自動車用電装品向け(+2億95百万円)

▶ 電子・産業機器向け(▲1億64百万円)



バッテリー式フォークリフト用充電器



- 上期のフォークリフト販売台数は、堅調推移

➡ バッテリー式フォークリフトの販売台数：前年同期比+1,349台(+7.5%)

- 国内フォークリフト販売に占める比率は、バッテリー式が、エンジン式を上回って推移

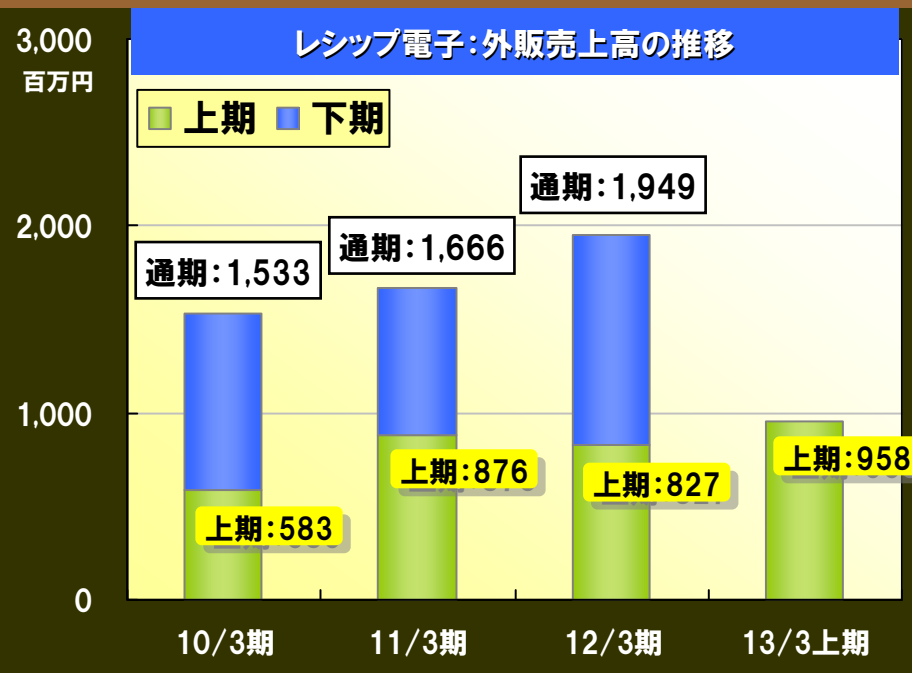
➡ バッテリー式フォークリフトの販売比率：55.8%(13/3上期)

- 今後も、環境対応を背景に、バッテリー式へのニーズが高まる見通し

➡ 次世代電池対応に向けた開発推進



レシップ電子・プリント基板実装事業



● 上期は、自動車用電装品向けが大きく拡大

【レシップ電子の外販売上高の内訳】

	12/3 上期	13/3 上期
・電子・産業機器向け	3億74百万円	2億10百万円 (前年同期比 ▲1億64百万円 ▲43.8%)
・自動車用電装品向け	4億52百万円	7億47百万円 (前年同期比 +2億95百万円 +65.3%)
合計	8億27百万円	9億58百万円 (前年同期比 +1億31百万円 +15.8%)



● 当社グループ内では重要な位置づけ

⇒ 自社グループ内に基板実装ラインを有していることで、当社製品に使用される基板を安定的に調達できる強み
顧客の仕様にも柔軟かつスピーディに対応可能であり、高い信頼とご評価をいただく

上期 連結損益の状況

【連結P/L】	2012年3月期:上期		2013年3月期:上期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	4,957	100.0	5,308	100.0	+351	
売上原価	4,135	83.4	4,353	82.0	+217	
売上総利益	821	16.6	955	18.0	+133	
販売管理費	1,256	25.3	1,296	24.4	+40	事務用経費: +26百万円、 修繕費 : + 4百万円、 運賃 : + 2百万円
営業利益	▲434	▲8.8	▲341	▲6.4	+93	
営業外収益	20	0.4	12	0.2	▲7	雇用助成金: ▲ 3百万円
営業外費用	16	0.3	18	0.3	+2	
経常利益	▲431	▲8.7	▲347	▲6.5	+84	
特別利益	0	0.0	0	0.0	0	
特別損失	16	0.3	1	0.1	▲14	関係会社出資金評価損: ▲16百万円
税金等調整前純利益	▲447	▲9.0	▲349	▲6.6	+98	
法人税等合計	▲150	▲3.0	▲83	▲1.6	+66	
上期純利益	▲297	▲6.0	▲265	▲5.0	+32	

上期 連結貸借対照表の主な増減項目

【連結B/S】	2012年3月期 期 末		2013年3月期 上 期 末			
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	8,023	77.5	5,979	72.7	▲2,044	現預金 :▲ 495百万円 売上債権 :▲1,793百万円、 棚卸資産 :+ 223百万円
固定資産	2,323	22.5	2,246	27.3	▲76	有形固定資産 :▲ 49百万円、 無形固定資産 :+ 8百万円、 投資その他の資産:▲ 36百万円
資産合計	10,347	100.0	8,226	100.0	▲2,120	
流動負債	4,560	44.1	2,938	35.7	▲1,622	仕入債務 :▲1,132百万円、 1年内返済予定長期借入金:▲235百万円、 未払金 :▲153百万円
固定負債	477	4.6	356	4.3	▲121	長期借入金 :▲118百万円
負債合計	5,038	48.7	3,294	40.1	▲1,743	
純資産合計	5,308	51.3	4,931	59.9	▲377	利益剰余金 :▲360百万円
負債・純資産合計	10,347	100.0	8,226	100.0	▲2,120	

1. 2013年3月期 上期業績の概要・主な項目の進捗状況:P 3~P17

▶ 2. 2013年3月期 通期業績予想・配当の状況:P19~P21

3. 中長期的な成長に向けた取り組み:P23~P33




【ご参考資料】:P35~P42

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期ごとの業績推移

業績予想のポイント

▶ 通期予想は、当初予想から変更なく、据置き。

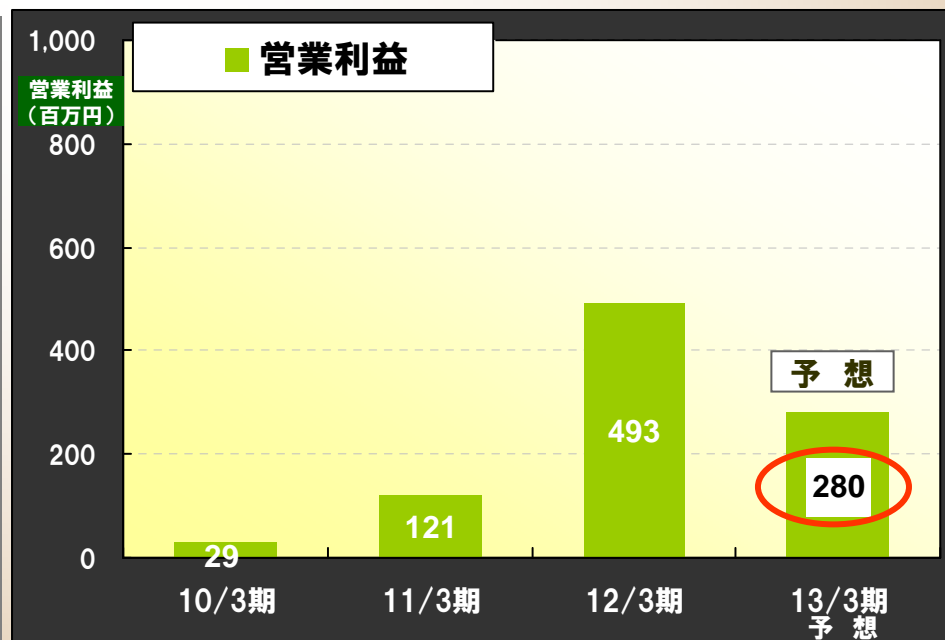
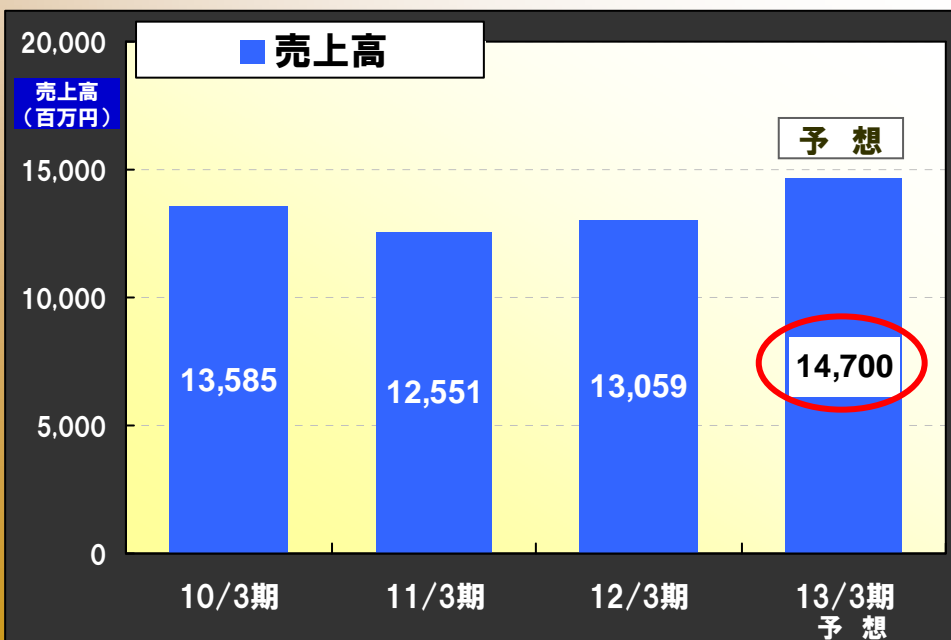
- 下期は、輸送機器事業で、バス用運賃収受システムや、車載用液晶表示器OBCを中心に、大口物件への納入を予定。
- S&D事業のLED電源も、下期は、照明器具メーカー様向けへの納入が拡大する見通し。

項目	前期比	
売上高	増収予想 	<ul style="list-style-type: none"> ● バス用運賃箱、車載用液晶表示器(OBC)などの増加 ● 海外市場での拡販 <ul style="list-style-type: none"> - 北米 :バス用自動運賃収受システム(AFC) :鉄道車両用LED灯具 等 - シンガポール:バス用LED式行先表示器、運賃箱 等 ● LED関連製品の拡販 <ul style="list-style-type: none"> - バス・鉄道・自動車用LED灯具 - LED電源
営業利益 経常利益	減益予想 	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来の成長に向けた戦略投資等、経費の増加など
当期純利益	増益予想 	<ul style="list-style-type: none"> ● 前年にあった海外子会社の清算に係わる特別損失や、税制改正に伴う繰延税金資産の取崩し等の影響が無くなる

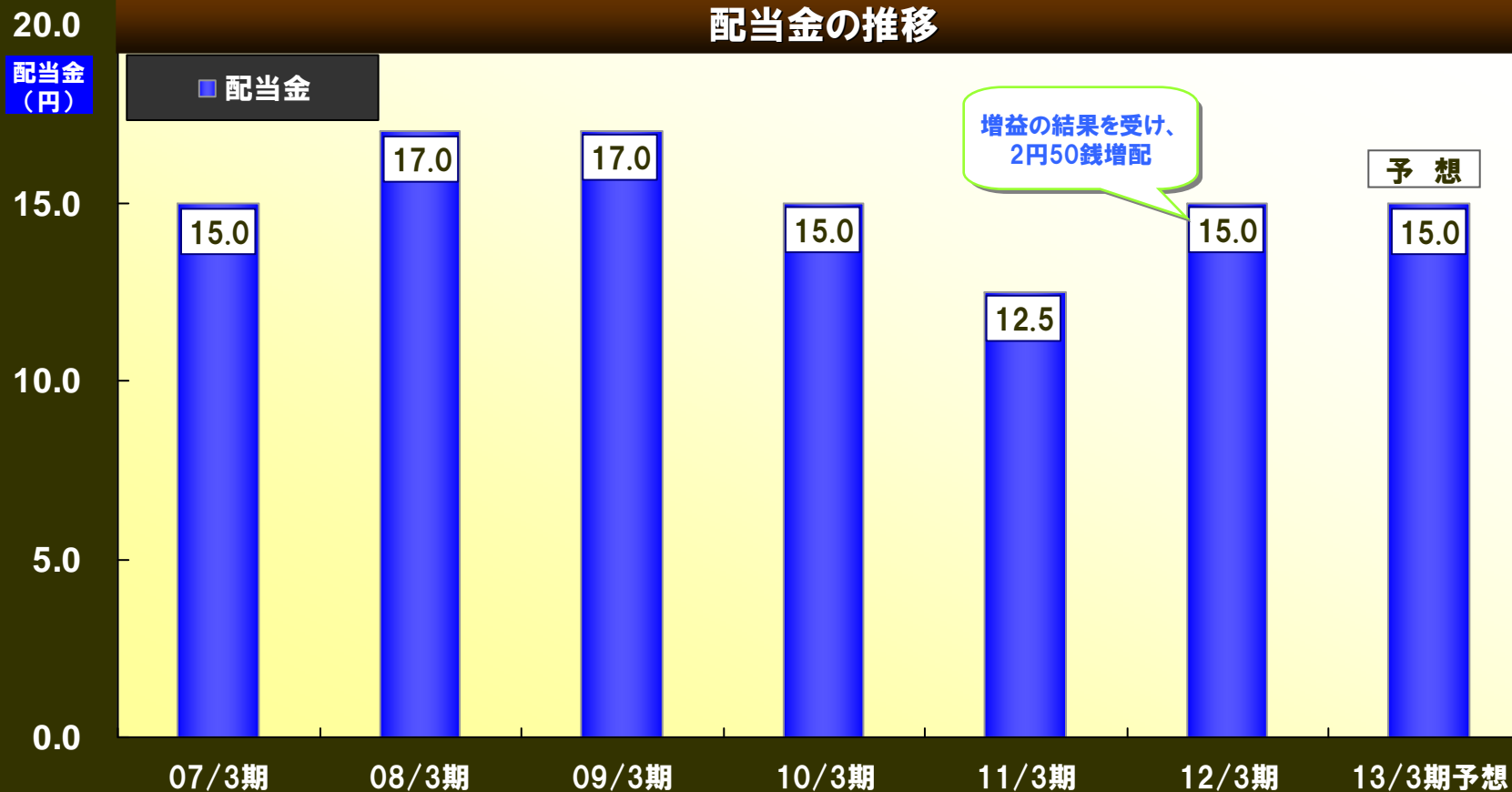


2013年3月期:通期業績予想

連結業績予想	2012年3月期 実績 (百万円)	構成比 (%)	2013年3月期 業績予想 (百万円)	構成比 (%)	前期比 増減額 (百万円)	前期比 増減率 (%)
売上高	13,059	100.0%	14,700	100.0%	+1,640	+12.6%
営業利益	493	3.8%	280	1.9%	▲213	▲43.2%
経常利益	514	3.9%	300	2.0%	▲214	▲41.7%
当期純利益	132	1.0%	140	1.0%	+7	+5.3%
E P S (円)	20円80銭	—	21円91銭	—	+1円11銭	+5.3%



配当金の推移



- 今期 2013年3月期の配当予想:前期と同額の**15円00銭**
- 継続的かつ安定的な利益還元に努める

1. 2013年3月期 上期業績の概要・主な項目の進捗状況:P 3~P17

2. 2013年3月期 通期業績の見通し・配当の状況:P19~P21

▶ 3. 中長期的な成長に向けた取り組み:P23~P33

【ご参考資料】:P35~P42

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期ごとの業績推移

—2010年度～2012年度:中期経営計画—

【 CE2012 】

CE = Comfortable Everyday 「快適な日常」

【経営理念】

「省エネルギー」「地球環境対応」「セキュリティ強化」を通じて、
快適な日常を実現するための製品・サービスを社会に提供する。

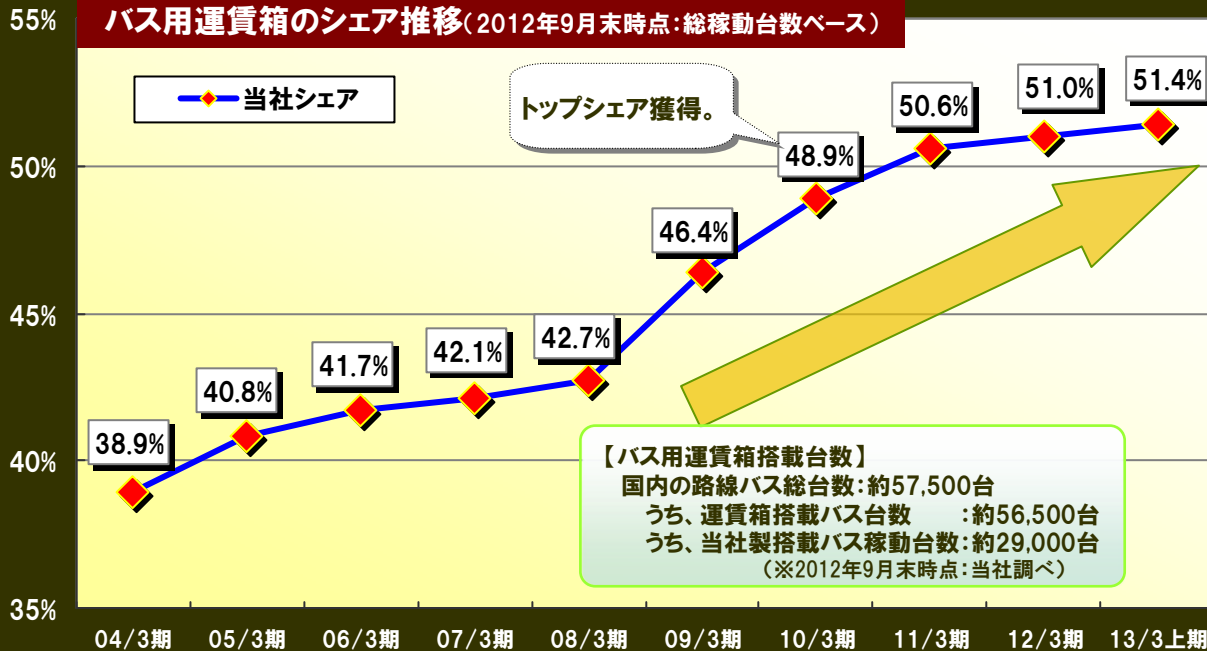
【重点課題】

- 新商品開拓への力強い熱意
- 五つの総ての市場での海外展開
- コスト競争力の強化

【2012年度の重点施策】

- 国内外におけるAFC(Automated Fare Collection System:自動運賃収受システム)のシェアアップ
- PIS(Passenger Information System:乗客情報システム)事業をAFC事業と並ぶ二つ目の柱とする
- LED商品の拡販
- 海外市場での、確実な売上の確保

AFC(自動運賃収受システム)のシェアアップ



- 2010年3月期に、シェア逆転し、トップシェア獲得。引き続き、拡大続く

➡ 今期上期末時点のシェア:51.4%

- 運賃箱の薄型化と、高額紙幣への対応を実現。得意とするICカードシステムの普及拡大も追い風

- 車載機器中心のメーカーから「自動運賃収受総合システム会社」へ脱皮し、売上の拡大を図る

➡ 後方の精算システムや、乗客の乗降実態分析システム等を包括したトータル・システムの提供に注力

PIS(乗客情報システム)事業の推進

● バス車内で



【表示例】



多くの有益な情報をリアルタイムで配信

- ▶ バス接近表示情報
- ▶ 乗換・接続の案内
- ▶ 周辺施設の案内
- ▶ 遅延・運休情報
- ▶ ニュース・CM
- ▶ 緊急情報 (事故、火災、地震、気象)
- ▶ 災害情報 (避難指示、安全、消息情報)

● 駅・バスターミナル・バス停 等で



PIS(乗客情報システム)事業の推進

● 多言語表示事例



● デジタルサイネージ「バスチャンネル」



バスロケーションシステムの推進

● 乗客向け運行情報配信サービスの充実

【パソコン・スマートフォン・携帯電話で】



ITUKUL

お知らせ
31日から31日まで、お正月ダイヤで運行

乗車地:

降車地:

出発時刻:

検索

日時を指定する
2012年 1月 24日
15時 40分

検索

乗車停留所: 県庁前
降車停留所: 宇都宮駅
車日: 今日
車時刻: 今から
補1 10:09発
当路線: JR宇都宮駅
着予定時刻: 10:34
りば: 0

始発
↓
二荒山神社下
↓
慈光寺前
↓
県庁東
↓
乗車停留所
↓
降車停留所
運行状況: 定刻



ポケット通信網
インターネット

【バス事業者様】



【バス停・バスターミナルで】



【バス車内で】

〇〇〇駅 乗り換え案内

現在時刻 16:35 >>> 到着予定 16:50

行先	発車時刻
特急 ΔΔΔΔ	16:56
急行 □□□	17:04
普通 □□□	17:15

〇〇〇方面 (上り)

ごいまXX線は約15分

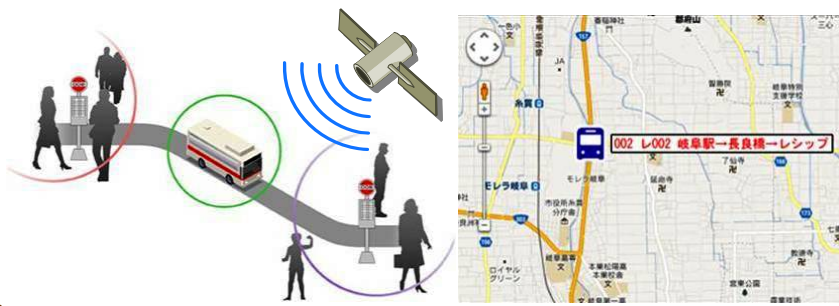
BMS(バス運行管理システム)事業の構築に向けて

■ BMS:バス運行管理システム (Bus Management System)

～ バス事業者様の最適なオペレーションと、乗客サービスの向上をサポートする総合システム ～

■ AVL (Automatic Vehicle Location):バス位置情報管理

▶ バスロケによる、バス位置情報の把握



■ FMS (Fleet Management System):車両・運行データ管理

▶ デジタコ・ドラレコによる、車両の燃費データ、乗務員運転データ、車内セキュリティ等の把握



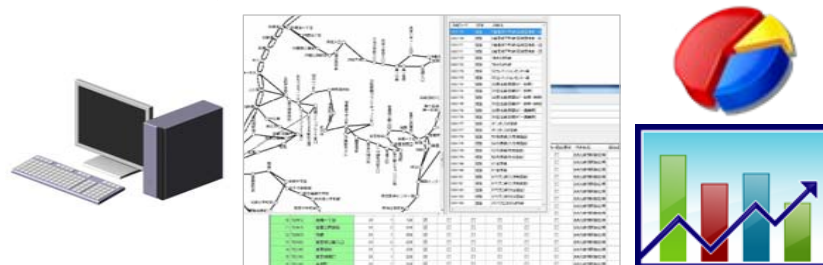
■ PIS (Passenger Information System):乗客情報提供

▶ バス車内・バス停の表示器、PC・スマホ等を通じた、運行状況・乗換案内等、乗客情報サービスの表示



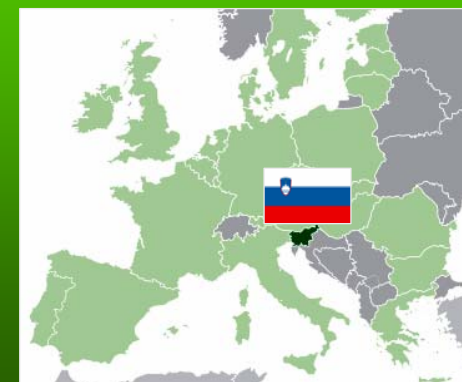
■ 運行評価システム

▶ データ集約・分析による、ダイヤ・路線設定・勤務体系等の評価、効率的なオペレーションをサポート



BMS(バス運行管理システム)事業の構築に向けて

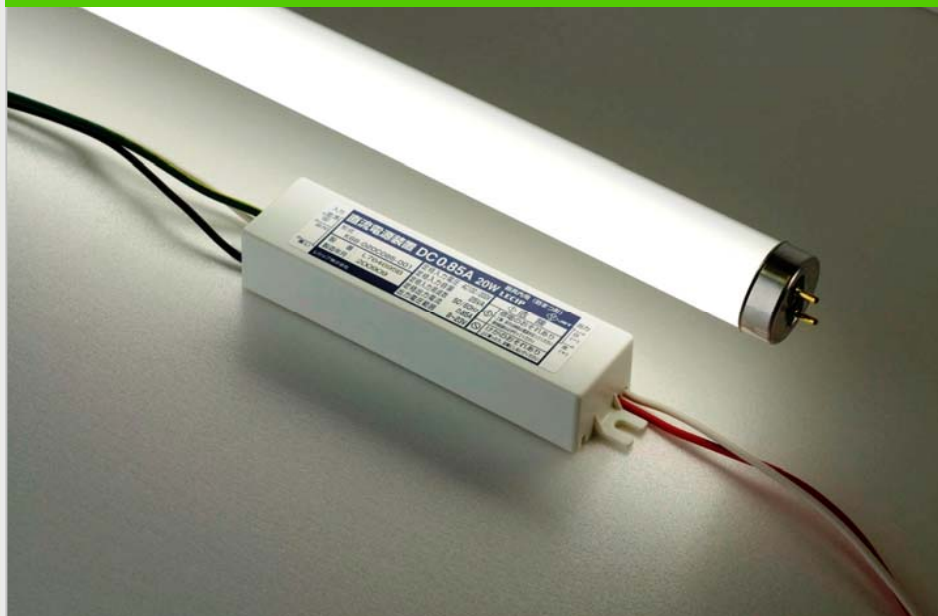
- BMS(バス運行管理システム)は、位置情報管理サービスの分野において、多くの実績を持つ、スロベニア共和国の技術者チームをパートナーとして、開発を行う
- 開発会社として、スロベニアの首都リュブリャナに、現地技術者との共同出資会社 LECIP ITS d.o.o.を設立
- スロベニア技術者チームが持つ、高い技術力やノウハウを活かしながら、BMSの開発・提案を進めていく



- ▶ 今後、国内外で、BMS(バス運行管理システム)の拡販を図る
- ▶ BMS事業を、AFC(自動運賃収受システム)事業と並ぶ、新たな基幹事業に育成すべく注力

LED商品の拡販

● LED電源と蛍光灯型LED灯具



● 車載用LED灯具

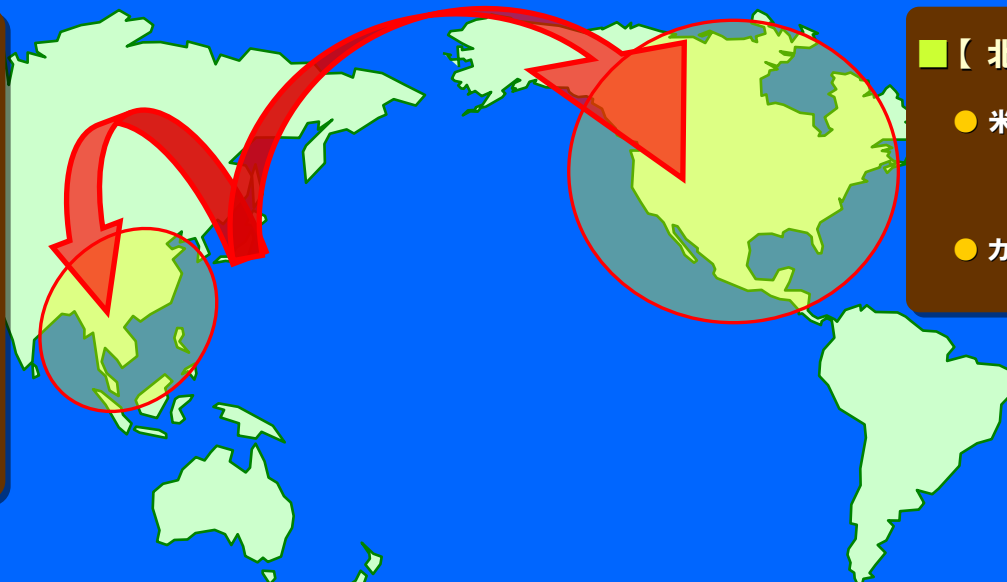


- **節電・省エネ意識の高まりから、照明分野におけるLEDの採用が活発化**
 - ▶ 店舗やオフィス等の屋内照明や屋外看板、バス停などの屋外照明、バス・鉄道・自動車の車載照明の分野で、LED関連ビジネスを展開
- **当社製品の強みは、優れた「耐久性」**
 - ▶ 長年の、屋外向け、車載向け等、厳しい使用環境向けの製品開発を通じ、多くのノウハウを蓄積
- **長寿命のLEDでは、製品の「耐久性」もポイント**
 - ▶ 優位性を活かした、高品質の製品開発と拡販戦略を推進

海外市場展開の強化

【 アジア市場での主な実績 】

- シンガポール
:バス用運賃箱、発券機、LED式行先表示器、バス運行管理システム、バス用LED灯具(※受注済)
- マレーシア:磁気カードシステム
- 香港:ICカードリーダー
- 中国:鉄道用蛍光灯具 等

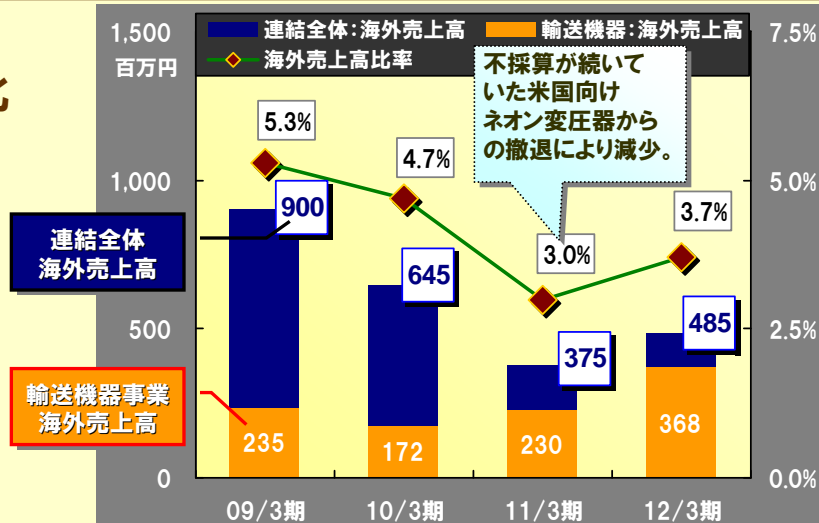


【 北米道市場での主な実績 】

- 米国 :バス用自動運賃収受システム一式(※受注済)
:鉄道用LED灯具
- カナダ:バス用乗り継ぎ発券機

● 主力の輸送機器事業を中心に、海外市場展開を強化

● 北米(米国・カナダ)バス・鉄道市場の開拓、アジア(シンガポール・ASEAN諸国等)市場での拡販に注力



海外市場展開の強化

● 北米市場



バス用運賃箱
北米向け



バス用発券機
(カナダ向け)



鉄道用LED灯具
(北米向け)

● バス市場向け製品一

米国市場で、AFC(自動運賃収受)システムを、相次ぎ落札。来期から本格的な納入を予定

- ▶ 6月:米国・カリフォルニア州・サンタモニカ市交通局様 落札(US\$ 約7.2M)
- ▶ 10月:米国・ケンタッキー州・リバーシティ交通局様 落札(US\$ 約4.1M)
- ▶ 米国バス市場での実績が無かった当社にとって、大きなブレイクスルー。今回の実績を足掛かりに、更なる展開を加速

● 鉄道市場向け製品一

鉄道車両用灯具の受注活動を推進

- ▶ 受注拡大続く日本の車両メーカー様、海外の車両メーカー様、現地の事業者様へのアプローチ継続
- ▶ ニューヨーク市交通局様の地下鉄車両で試験搭載を実施

海外市場展開の強化

● アジア市場



バス用LED式行先表示器
(シンガポール向け)



バス用運賃箱・発券機
(シンガポール向け)

● 公共交通の先進国シンガポール市場での販売強化

- ▶ バス用運賃箱と発券機は、現地で100%のシェアを獲得
- ▶ 昨年、バス用LED式行先表示器の受注に成功し、納入進める
- ▶ 今年の10月には、新たに、バス用LED灯具の受注に成功

● 周辺諸国への展開も視野に入れ、アジア市場での拡販を図る

- ▶ 今後も、バス・鉄道等公共交通インフラの継続的な発展が予想される
- ▶ BMS(バス運行管理システム)等の需要にも対応

1. 2013年3月期 上期業績の概要・主な項目の進捗状況:P 3~P17

2. 2013年3月期 通期業績の見通し・配当の状況:P19~P21

3. 中長期的な成長に向けた取り組み:P23~P33

▶ **【ご参考資料】:P35~P42**

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期ごとの業績推移

会社名	: レシップホールディングス株式会社 (LECIP HOLDINGS CORPORATION)
設立	: 1953年3月
代表者	: 代表取締役社長 杉本 眞
本社所在地	: 岐阜県本巣市上保1260番地の2
連結従業員数	: 443名 (2012年9月末現在)
資本金	: 7億3,564万円
発行済株式総数	: 6,399,100株
上場証券取引所	: 東京証券取引所市場第2部、名古屋証券取引所市場第2部
証券コード	: 7213
連結子会社	: レシップ株式会社 : レシップエスエルピー株式会社 : レシップ電子株式会社 : レシップインターナショナル株式会社 : レシップエンジニアリング株式会社 : LECIP INC. : LECIP U.S.A.,INC

■ 輸送機器事業

■ S&D(サイン&ディスプレイ)事業

■ 産業機器事業

【ご参考】2012年3月期 通期の事業セグメント別売上高

12/3期 連結売上高:13,059百万円

【産業機器事業】
充電器、無停電電源装置、
物販共用読み取り端末、
プリント基板実装



【S&D事業】
LED電源、蛍光灯型LED灯具
ネオン変圧器、
屋外用電子安定器、CCL



3,796百万円
29.1%

1,183百万円
9.1%

44百万円
0.3%

8,035百万円
61.5%

- 輸送機器
- S & D
- 産業機器
- その他

【輸送機器事業】
バス・鉄道用運賃箱、
ICカードシステム、
OBC(液晶表示器)、
LED式行先表示機器、
車載用照明機器



市民体育館前				四軒家西口			
1	2	3	4	5	6	7	8
2030	1030	980	930	880	830	780	730
9	10	11	12	瀬戸駅前			
680							

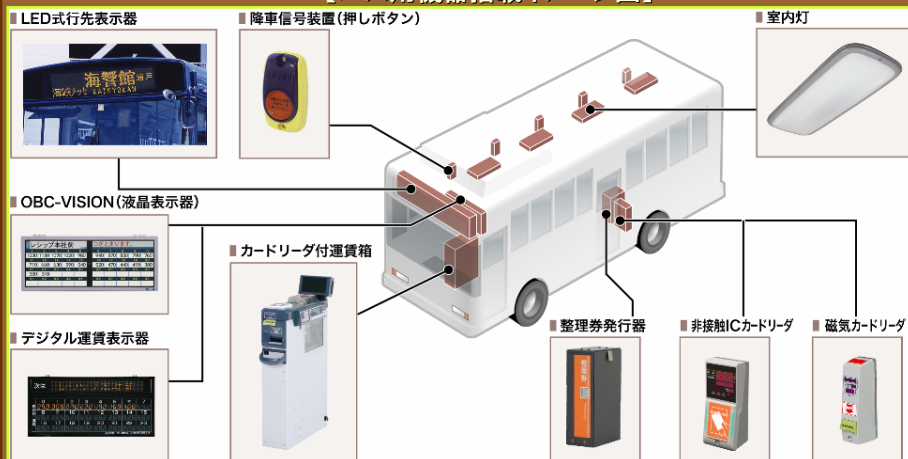
輸送機器事業

● バス市場向け製品



- 国内唯一の、「バス用電装機器トータルサプライヤー」ワンストップソリューションを実現
- バス用ICカードシステムのパイオニア
- 多くの製品で国内トップシェアを獲得

=====【バス用機器搭載イメージ図】=====



● 鉄道市場向け製品



- ワンマン鉄道用機器と、車両用照明灯具を展開
- 鉄道用ワンマン機器は、国内90%以上のシェアを獲得

● 自動車市場向け製品



- 自動車用蛍光灯具のパイオニア、国内トップシェアを獲得
- LED灯具の拡販推進

S&D事業



LED電源と蛍光灯型LED灯具



ネオン変圧器



CCLのご採用事例 東京・銀座 横浜・みなとみらい CCL(Cold Cathode Lamp)

- 不採算が続いていたネオン変圧器事業の再編
- LED電源、蛍光灯型LED灯具の拡販推進
- 建築・施設照明向けライティングシステム・CCLを展開

産業機器事業



フォークリフト用充電器



無停電電源装置・屋外用電源装置



プリント基板実装ライン

- フォークリフト用充電器で国内トップシェアを獲得
- CATV基地局向け無停電電源装置などの、各種電源装置を展開
- 連結子会社 レシップ電子において、プリント基板実装事業を展開

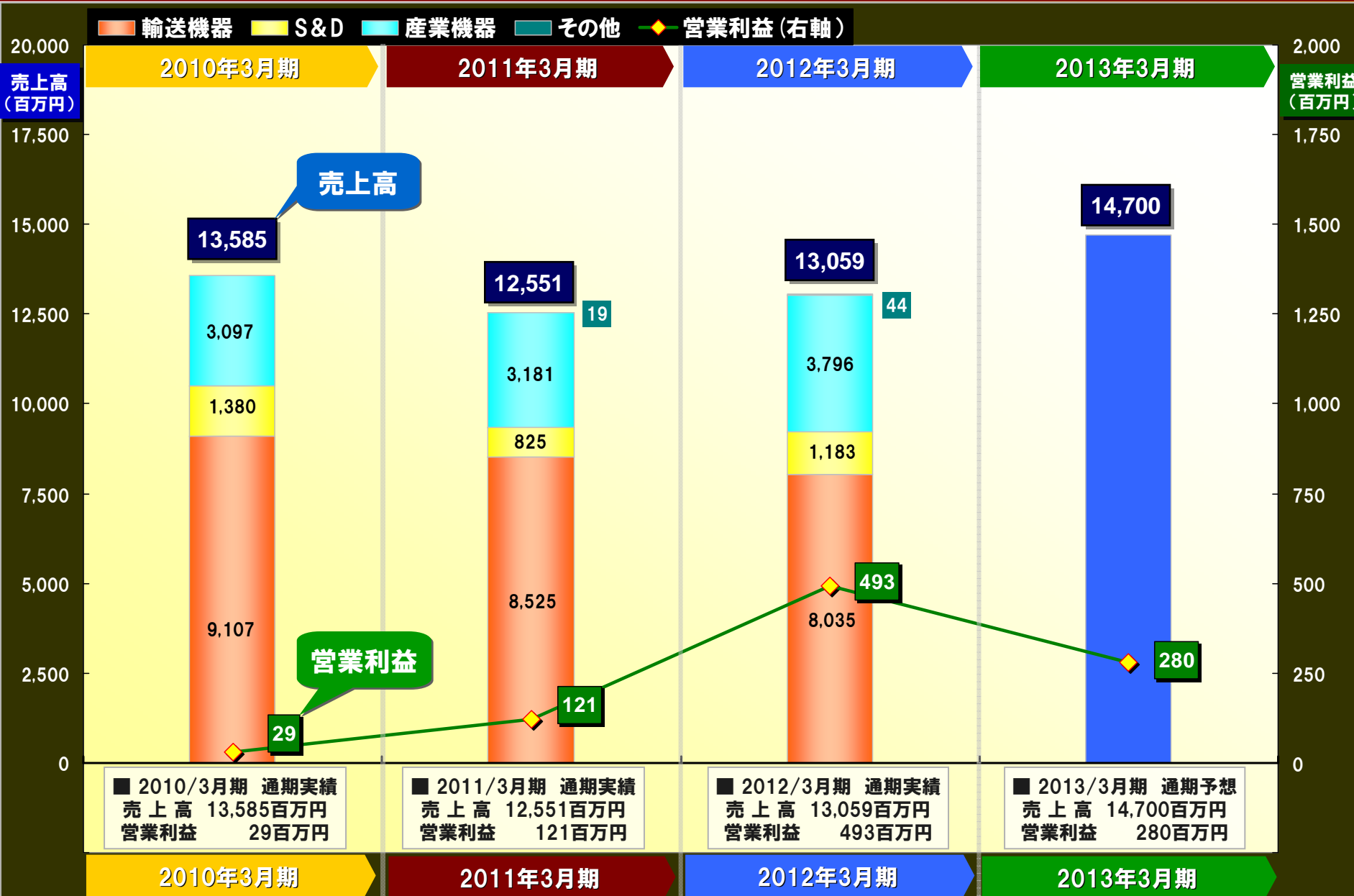
【ご参考】: 主な経営指標の推移

(単位: 百万円)

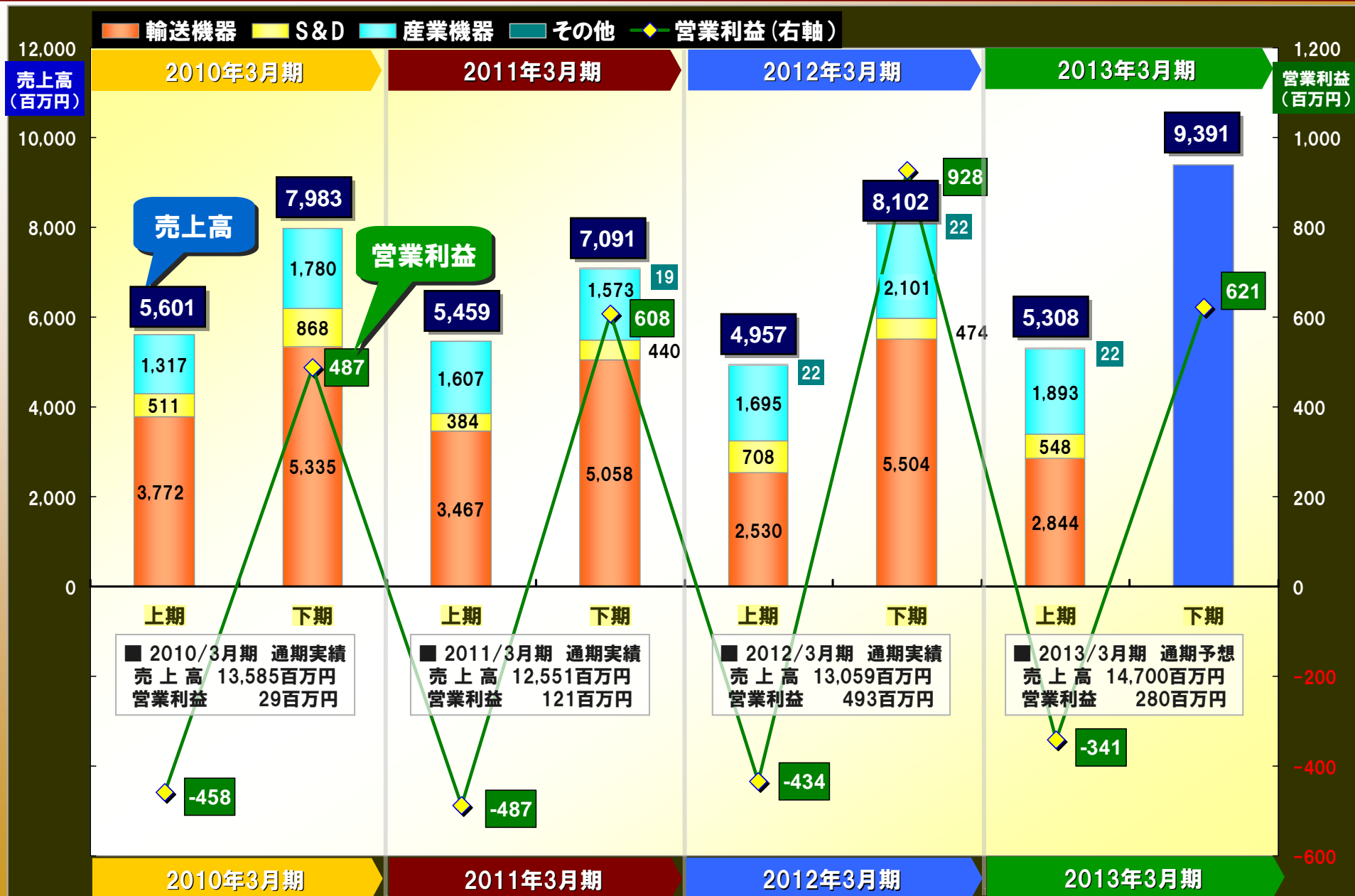
主な経営成績 指標の推移	2004/3期	2005/3期	2006/3期	2007/3期	2008/3期	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期 予想
売上高	15,717	16,346	17,233	17,572	18,511	16,933	13,585	12,551	13,059	14,700
営業利益	400	1,122	1,089	1,189	1,232	1,070	29	121	493	280
営業利益率(%)	2.5	6.9	6.3	6.8	6.7	6.3	0.2	1.0	3.8	1.9
経常利益	390	1,124	1,086	1,191	1,208	1,104	64	154	514	300
経常利益率(%)	2.5	6.9	6.3	6.8	6.5	6.5	0.5	1.2	3.9	2.0
当期純利益	▲100	654	622	668	686	521	41	46	132	140
当期純利益率(%)	▲0.6	4.0	3.6	3.8	3.7	3.1	0.3	0.4	1.0	1.0
総資産	10,267	10,529	10,512	11,533	11,470	10,417	10,521	9,698	10,347	—
純資産	1,888	2,519	3,895	4,408	4,995	5,339	5,289	5,275	5,308	—
自己資本比率(%)	18.4	23.9	37.1	38.2	43.5	51.2	50.3	54.4	51.3	—
EPS(円)	▲18.05	107.70	96.29	104.68	107.38	81.61	6.55	7.34	20.80	21.91
ROE(%)	—	29.7	19.4	16.1	14.6	10.1	0.8	0.9	2.5	—
BPS(円)	338.36	441.66	599.65	689.82	781.66	835.49	827.65	825.60	830.76	—

※2004年3月期につきましては、退職給付制度改革を実施し、確定拠出年金制度への全面移行に伴い、退職給付制度変更損失:397百万円を計上したため、当期純損失となっております。

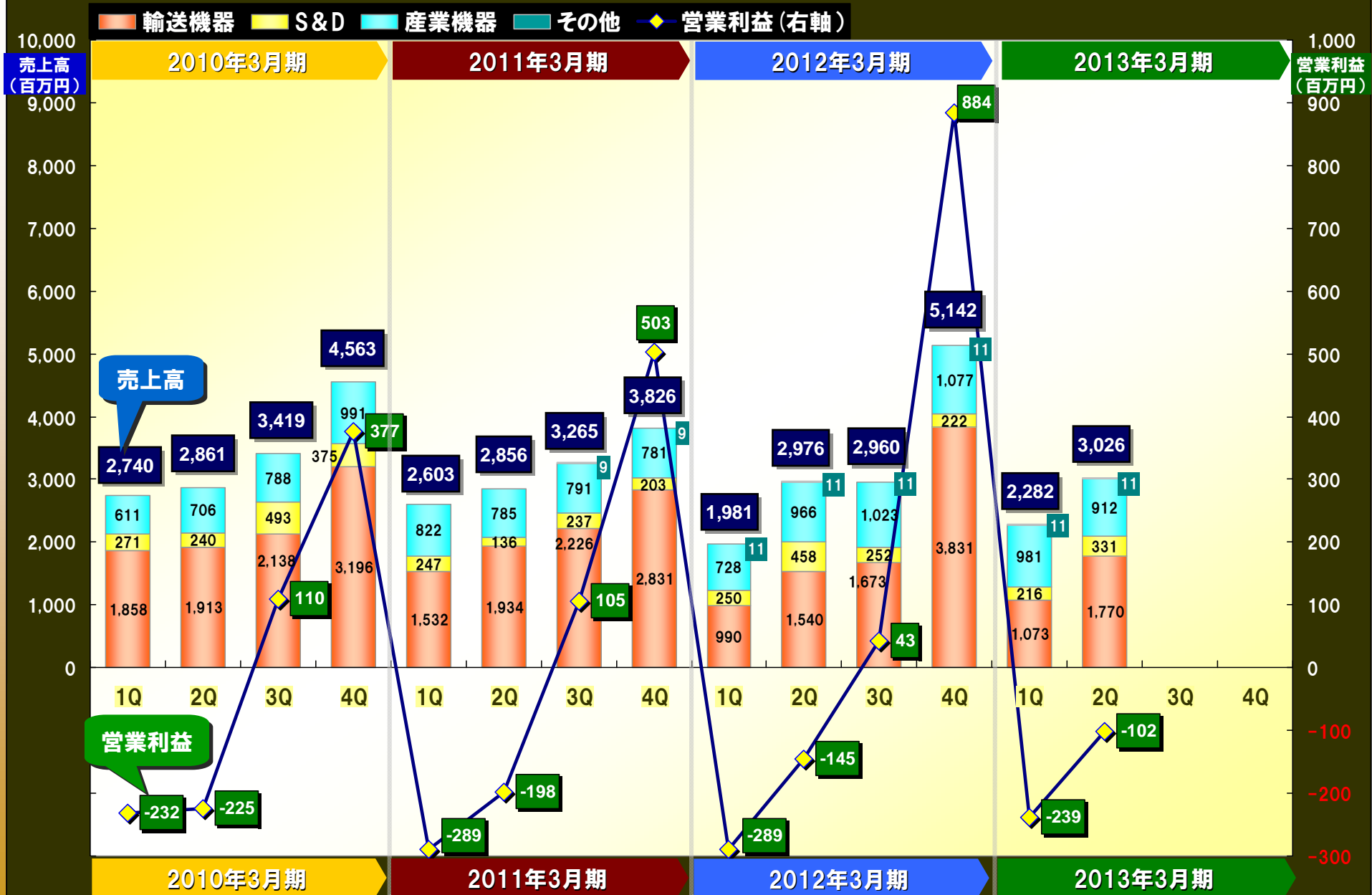
【ご参考】:年間業績の推移



【ご参考】: 上期・下期別の業績推移



【ご参考】: 四半期別の業績推移



LECIP GROUP

レシップホールディングス株式会社

【資料お問合せ先】

IR担当役員：常務取締役 山口 芳典

電話番号：(058)323-7647

IR担当者：人事総務部 総務課 野村 武史

電話番号：(058)324-3121

【将来予測について】

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。